

サンライフ盛岡 平成 27 年度 第 3 回運営委員会 議事要旨

開 催 日 時：平成 28 年 2 月 26 日（金）午後 3 時 00 分開始 午後 4 時 45 分終了

会 場：サンライフ盛岡 2 階 会議室

出 席 者：中田 徳康 氏、中村 一 氏、武藤 喜治 氏、佐々木 大 氏、平野 順子 氏

オブザーバー：盛岡市商工観光部企業立地雇用課 主査 藤原 禎久 氏

事 務 局：藤枝 薫、上和野 俊彦

1 開会

館長より挨拶

2 委員長挨拶

中田委員長より、挨拶をいただいた。

3 報告事項

平成 27 年度運営状況について

事務局からの説明

- ・ 資料 1 ～ 3 を基に、平成 27 年 11 月～平成 28 年 1 月の運営状況（利用状況、収入状況、運営状況）についての報告を行った。
- ・ 資料 4 を基に、平成 27 年 11 月～平成 28 年 1 月までの施設修繕状況並びに、今後の修繕検討箇所についての報告を行った。
- ・ 資料 5 ～ 6 を基に、平成 27 年 11 月～平成 28 年 1 月までの自主事業実施状況並びに、今後の実施予定についての報告を行った。
- ・ 資料 7 を基に、盛岡市広報で発表されたサンライフ盛岡減築案について、利用者からの問い合わせについての報告を行った。

4 協議事項

＜盛岡市の施設の減築について＞

委 員：昨年、広報で発表されたサンライフ盛岡の減築案について、その後の状況はどうか。

事務局：サンライフ盛岡の減築案は白紙となり、長寿命化のため大規模改修が入ることになりそうである。ただし、その方法や時期については今のところ何も決定していないようである。

委 員：指定管理の期間にも影響が出てくることも考えられるが、その辺りについてはどうなるのか。

事務局：例えば、指定管理の期間中に大規模修繕が入った場合の契約期間の延長、または指定管

理者の再公募になるのか今のところ不明である。

盛岡市：盛岡市中央通勤労青少年ホームの機能の受け入れも含めての長寿命化であり、お互いに活動している利用者に有益な大規模改修になると考えられる。

委 員：盛岡市中央通勤労青少年ホームも指定管理者が運営しているのか。

事務局：指定管理の施設だが、サンライフ盛岡とは違い利用料金制はとっていない。利用料金や運営体制についても今後の検討課題となる。

委 員：大規模改修が入った場合、利用者の活動の場はどうなるのか。

事務局：サンライフ盛岡が改修しているうちは隣の仙北活動センターを利用していただくような案が出ているようである。ただし、運動系のサークルの一部は種目やスペースの関係で活動できそうにない団体も予想される。

<利用率について>

委 員：前年度対比で102%のようだが、今後の見通しはどうか。

事務局：利用率の増加に伴い、利用希望日に既に予約が入っていたりして、一例を挙げれば企業の会議の予約等が受けにくくなってきている。空いている別の日時でご案内はしているが、スケジュールが合わずチャンスロスとなることが多い。

<修繕について>

事務局：1月に実施された年次電気設備点検の際、受電設備の接地抵抗値が高くなっているとの指摘を受けた。早急に対処する必要性はないようだが修繕をすることになりそうである。

委 員：大規模修繕には入らないのか。

事務局：このケースは入らないと考える。大規模修繕に入るとすれば、屋根やスポーツ室のフロア、冷房用の冷凍機等が該当してくると思われる。

委 員：指定管理者側ができる修繕の優先順位が変わってくるのではないかと。

事務局：大規模修繕に該当しそうな箇所については、修繕予算をはるかに超える金額がかかることが予想されるため、従来通りの修繕に留めておこうと考える。

<講座について>

委 員：夜に開催される講座が少ないようだが。

事務局：以前開催していた講座では、内容にもよるが期待していたほどの集客ができなかった講座が多く、継続利用につながらなかった。

委 員：講座を開催することによって利用率が上がり、利用料金収入も入るメリットはあると思うが。

事務局：講師の選定、講座の内容を含め、開催する方向で検討したい。

＜減築について利用者からの問い合わせについて＞

委 員：減築に関して問い合わせが多数あるようだが。

事務局：減築となれば、現在活動をしている利用者が活動の場を失うことになるため、当然の問い合わせと思われる。

減築案がなくなり、建物が存続するとわかった時点で、問い合わせのあった団体や、主要な団体にはお知らせしている。市から正式な発表がないため、詳しい説明ができないのが現状である。利用者に早く安心して活動していただくためにも、広報等で早めに公表していただきたいところである。

＜今後の運営について＞

事務局：夜の時間帯の利用率を上げるよう再検討し、前向きに進めようとする。また、企業の会議等と呼び込めるよう努力したい。

委 員：例えば高齢者向けの軽い運動等を取り入れてはどうか。

事務局：以前、幼児、児童対象の体育教室を行っている先生に講師をお願いし、高齢者向けの運動講座を開催したことがある。

委 員：心理学に絡めた医療系の講座も良いのではないかな。

事務局：心理学で痛みを和らげられるという話を聞いたことがある。

委 員：目的外かもしれないが、近場の方々が交流の場として気軽に集えるような仕掛けを作るのも良いと思う。

事務局：フリースペースで読書や勉強をしている方は時々見受けられる。

5 閉会

議長の挨拶で閉会となった。